

二輪生活のすゝめ



呼吸器科 やぎ しんいち
矢木 真一 先生

早いもので倉敷平成病院に赴任してから3年半が経ちました。赴任時にこのコラムに自転車について書きました。自転車で体重は落ちるわ、肝機能は正常化するといった効果を実感し、今も乗っています…が…自転車には重大な欠点があるのです。漕がないと進まないという重大かつ根本的な欠点！最近は何かと自転車で遠出するのも億劫になり、かと言って自動車でCO₂を垂れ流しながら走るのもスマートでない今日この頃注目したのがバイクでした。

この数年、中東の政情不安から発した原油価格の高騰は日本国民の生活をじわりじわりと蝕んでいるこのご時世、維持費

の安さと低燃費で注目したのが原付二種(小型二輪：51-125cc未満のバイク)でした。原付一種と違い30キロの速度制限がない、二段階右折しなくて良い、2人乗りもできるなどメリットが多い為、最近ではピンクのナンバープレート(原付二種のナンバーは黄色もしくはピンク色)のバイクを見る事が増えました。しかし、原付二種は小型二輪以上の免許がないと乗れないのです。普通自動車免許では乗れないのです。当初は原付二種を乗ろうと思って免許を取ろうとしましたが、教習料金を見ると数万足せば普通自動二輪免許が取得可能という事実。ということで8月に普通自動二輪免許を取得し、最近では250ccの軽二輪で通勤しています。自転車と違い漕がなくて良いので大変に楽であり、速度が出るので気分的にも開放感があり、移動の自由度が格段に上がりました。また、認知速度と脳機能全般、メンタルヘルスの改善効果により認知症予防に有効との報告もあります(ただしギヤ付きバイクに限る、スクーターでは効果なし)。

しかし、二輪は四輪より物理

的にこけやすい、つまり事故に遭うと致命的になりやすいという欠点があり、常に先読みをした運転が要求されます。教習所でも危険予測について多くの教習時間が割かれています。お陰で4輪に乗っている時も巻き込み確認の目視や後方の確認は以前より頻繁に行う癖が付きました。正しく二輪車を乗れている方なら自転車に乗っていてもスマホいじり&イヤホン、確認なしの進路変更など恐ろしくてできないであろうと思います。私としては二輪免許を取得したことでさらに安全運転意識が向上したという点は良かったと思います。

とは言えリスキーな趣味・娯楽であることには変わりなく、一概におすすめできるものではありませんが、免許を取得したいという方はご一報を(ロードバイクに乗りたいたいという方でも歓迎)！バイク(二輪)は楽しいですよ。

矢木先生は毎週月・金・第1・3・5土曜日の午前中と毎週木曜日の午後の呼吸器科の外来診察と入院治療を担当されています。

Doctor's Eyes